

各設問の考察

問1 あなたの年齢

最も回答数が多かったのは50代で約28%、次いで70代以上が約24%、60代が約21%で、これら3つの年齢層で全体の約73%を占める結果となった。また40代も約17%弱の回答があり、全体的に中高年層の意見が反映された結果となっている。今後墓地を取得する、あるいは取得などを検討するであろう主要なターゲット層の意見が反映された結果となり、大庭台墓園の今後のあり方について検討する上で、有効な指標になると考えられる。

問2 お住まいの世帯構成

アンケートの回答者は「夫婦と子どもの世帯（約39%）」と「夫婦のみの世帯（約30%）」で全体の約70%を占めていることから、核家族が中心となっている。また「単身世帯」も全体の約14%を占めている。「夫婦のみ」「夫婦と子どものみ」また「単身世帯」の層は、管理負担の少ない、または跡継ぎを必要としない墓地形態への需要も比較的高いと推察されることから、幅広い選択肢の用意について検討が必要と考えられる。

問3 お住まいの地区

回答者の居住地は市内在住が約96%、市外（近隣市町、神奈川県内、県外）が約4%という結果であった。地区別には「藤沢地区」が約15%、「鶴沼地区」が約11%となっており、市内中心地である南部エリアの住民の関心が高いことが伺える。また市北部の回答も相応にあることから、総じて市内全域において関心が示される結果となった。「辻堂地区」「湘南大庭地区」「村岡地区」など、大庭台墓園や市斎場、藤沢聖苑の施設周辺に居住する住民からの回答も多く、こうした市営の施設への関心が比較的高いことが伺える。

問4 将来のことを含め、ご遺骨やお墓について不安や心配事がありますか

「子や孫などに負担をかけたくない」を選択した人が最も多いことから、少子高齢化や核家族化等の社会構造の変化が、墓地や供養に対する意識に影響を与えていることが伺える。社会構造の変化に伴い、家単位で墓地を承継していくことが難しくなっている現状が伺える。

問5 4で選択した不安や心配事について、相談できる人はいますか

回答者の約69%の人が相談できる人として「親族」を回答しており、ご遺骨やお墓に関する不安や心配事は家族的な性質を備えるものであることが示されている。一方で約24%の人が相談相手が「いない」と回答していることから、この層の孤立を防ぎ、必要な情報提供や、相談支援に繋げていく体制も必要と考えられる。

問6 お葬式の事前契約など、将来に向けて予め準備をすることについて興味はありますか。

「ある（今後準備していきたい）」を選んだ人は約60%に上り、将来に向け葬儀等に関する事前準備を行うことに関心や意識が高いことが伺える。具体的準備に行動を移している人は全体の1割程度ではあるものの、問4のお墓や遺骨に関する不安の回答で最も多かった「子や孫に迷惑をかけたくない」、また問5で24%の方が回答した「相談相手がいない」という意識や状況が、将来の準備へ繋がっているものと推察される。

問7 ご自身が亡くなった際のご遺骨の扱いについて希望はありますか。

遺骨の取扱については従来の慣習に基づく考えを持つ人が最も多い結果となった。一方で「樹木葬」に対する関心も高まっていると推察される。「散骨」や「火葬場での処分」を希望する人も見られ、価値観の多様化に伴い供養のあり方に変化が生じていることが伺える。

問8 お墓の取得を希望していますか（問8）

墓地の取得を「希望している」と回答した人は全体の約24%に留まり、社会構造の変化に伴い価値観の多様化が進む中で、必ずしも墓地を持つ必要がないという考えが広まりつつあることが伺える。一方で「希望していない（未定含む）」を回答した人の中には、現時点で計画がない、または永代供養型、樹木葬等の形態やそれらに付随する供養方法を検討している可能性もある。

問9 お墓の取得を希望している理由を教えてください

約60%の人が「将来のために用意したい」を選択しており、これは問4で「子や孫などに負担をかけたくない」が上位だったことと関連すると考えられる。「埋葬していない遺骨がある」、「他のお墓から遺骨を移したい」を合わせると約28%の人が既にある遺骨の解決策を検討していることが伺える。その他の意見としては「ペットと同じお墓に入りたい」、「新たな形態の墓地が欲しい」等があり、墓地形態に幅広い選択肢が必要とされていることが伺える。

問10 お墓を取得する場合、どのようなタイプのお墓を希望しますか

墓地の取得を「希望する」と回答した人に希望の墓地タイプを尋ねたところ、「従来型のお墓」を希望する割合が約38%と最も多く、次いで「樹木葬」、「納骨堂」、「合祀型」の順となった。墓地の取得を希望する層においても選択肢が多様化しており、お墓の取得に対する不安が解消される墓地形態への関心が高いことが伺える。その他の意見として「永代供養がセットになった墓地」や「ペットと共に入れる墓地」等の希望があったことから、複合的な要素も必要と考えられる。

問11 お墓の取得を希望していない理由を教えてください

墓地の取得を「希望しない」理由として「次世代への負担軽減」を理由とする人が最も多く、「既に所有している」を除けば「必要性を感じない」、「取得や管理に費用がかかる」、「跡継ぎがない」、「散骨等をした(したい)」が比較的多く、従来の墓地継承のあり方が現在のニーズにそぐわない状況になりつつあることが伺える。多様な墓地形態や供養のあり方を検討することが重要な要素となると考えられる。

問12 お墓について、重視することを教えてください

墓地の取得に関する「経済的負担」、「交通アクセスの利便性」、また「将来に渡る管理面の負担のあり方」が重視されている。多様な墓地形態の導入によって、市営墓地へのニーズが高まることも期待される。

問13 大庭台墓園内で、永代供養タイプのお墓である合祀墓の募集があった場合、利用を希望しますか

約半数の人が合祀墓の利用を「希望する」と回答しており、永代供養タイプの墓地となる合祀墓に対する期待感を表していると言え、今後の需要拡大が期待される。一方で合祀墓がすべてのニーズを満たすものではなく、合祀ではない個別供養や樹木葬等その他の墓地形態へのニーズもあると推察される。

問14 合祀墓利用(申込み)を希望する理由を教えてください

合祀墓の利用を「希望する」理由のトップは「子孫への負担軽減」で、次いで「市営の安心感」となっており、次世代へ負担をかけず、安心できる供養形態を求めるニーズが表れている。合祀墓は新たな墓地形態としてのメリットが大きいですと言え、積極的な活用が期待される。

問15 大庭台墓園に新たに墓地を建設する場合、どのような墓地があれば取得したいと思いますか

新規墓地の建設については、シンボルツリー等を配した「樹木葬」が最も多く、「ペット墓地」と「ペットと共に眠れる墓地」を合わせた割合も多い結果となった。ニーズを捉えた新たな墓地形態の導入を図ることで、選択肢を広げる必要があると考えられる。

問16 大庭台墓園において、利用したいと思うサービスを教えてください。

約36%の人が「墓所の清掃サービス」を、また約13%の人が「墓地の法要(お線香)代行サービス」を選択しており、お墓の管理や維持に関する負担軽減へのニーズが高いことが示されている。また「充実したオンライン手続き(届け出や申込等)」を選んだ方が約26%で2番目に多く、デジタル化が進む現代において手続きの利便性の向上も必要な要件であると言える。その他の意見としては葬儀や墓じまいに関する相談体制の充実等を求める声もあり、公共墓地運営が単なる墓地管理だけでなく、終活全般に及ぶ包括的なサービスなどを充実させていく必要性について課題があると捉えられる。

問17 大庭台墓園内に法要及び会食を行うことができる貸室（有料）があった場合、利用を希望しますか。

約37%の人が利用を「希望する」と回答しており、特に大庭台墓園に墓地をお持ちであれば、墓参と法要、会食を同一の場所で行えることにメリットがあると考えられる。市斎場は開設から40年以上が経過しており老朽化も見られることから、社会情勢やアンケートによる需要を踏まえた改修を行う必要あると考えられる。

問18 藤沢市斎場をご存じですか

約67%の人が市斎場を「知っている」と回答していることから、利用機会が限定される施設でありながら、大庭台墓園内に立地することによるメリットや、葬儀の他にも法事等で利用されていることなどの影響があると推察される。一方で約33%の人が「知らない」と回答していることから、民間葬儀社の認知度が高いこと、そもそも葬儀などの機会が少ないなどの影響があると推察される。

問19 今後お葬式や法事を執り行う場合、藤沢市斎場（市営の斎場）の使用を希望しますか

「希望する（使用したことがある）」「希望する（使用したことがない）」を合わせた47%の人が施設に対して一定の満足を感じていることが伺える。一方で約40%の人が「わからない」を選択していることから、将来における斎場の利用について特に意識をしていないことが伺える。

問20 藤沢市斎場の使用を希望する（した）理由を教えてください

斎場利用を「希望する」と回答した人にその理由を聞いたところ、「市営の安心感」が最も多く、次いで「立地の良さ」や「リーズナブルな料金設定」が続いており、斎場の施設利用におけるメリットがあることが伺える。施設利用において「宗教、宗派を問わない」ことも市営のメリットと考えられる。一方で施設設備面についての評価は低いことから老朽化による課題もあると考えられる。

問21 藤沢市斎場の利用を希望しない理由を教えてください

斎場利用を希望しない理由を尋ねたところ、約33%の人が「特になし」が選択していることから、現時点では特に利用における深い考えがないなどの理由が背景にあると推察される。約22%の人が「利用方法が分からない」を選択していることから情報提供の面で課題があると言える。また約18%の人が「立地が良くない」を回答しているが、問20の斎場の利用を希望する理由では「立地がよいため」は上位にあり、利用者によって評価はわかれている。その他の理由としては、「突然の事態の時に使いにくい」「自宅近くの斎場利用予定」「利用したことがあり自分で準備することが多く面倒だった」などの意見があり、市斎場利用におけるデメリットがあることが伺える。

問22 藤沢市斎場に必要だと思う機能やサービスについて教えてください

「家族ホール（約10名が参列できる葬儀場）」が約23%と最も多くの人々が選択していることから、葬儀形態の小規模化や家族葬に対する需要や考えが表れている。次に多かった回答が「遺体安置施設」で約15%あり、自宅での安置が難しい現代の住宅事情や、葬儀までの適切な管理面を重視する傾向があることが伺える。「法事などができる貸室」が約14%、「施設のオンライン予約システム」が約13%、付帯設備として「飲食スペース」や「売店」も一定のニーズがあり、予約手続における利便性、実際に葬儀または法事を終えるまでの利便性を重視していることが伺える。

問23 藤沢聖苑に通夜・告別式が出来るホール等の貸室（有料）があった場合、利用を希望しますか

「希望する」と回答した人が約42%に上り、火葬と葬儀が同一の場所で行えることで利便性が高まると感じていることが伺える。移動の負担が減るため、特に遠方からの参列者や高齢の参列者がいる場合、一体型のサービスはメリットがあると言える。その他の意見として「金額による」「一日葬が出来る設備があるといい」などがあり、葬儀形態の小規模化や多様化に対応した料金設定や設備設計が必要とされることを示唆している。